

電気電子工学科 3 年 大沢さんが ロボットアイデア甲子園 南信州大会 最優秀 全国大会出場

2025 年(令和 7 年) 10 月 29 日 水曜日

南 信 州 新 聞



発表会に出場した学生の皆さん

大沢さんが最優秀 全国へ ロボットアイデア甲子園 南信州大会の発表会

高校生らが産業用ロボット活用のアイデアを競う「ロボットアイデア甲子園」の南信州大会の発表会が 25 日、飯田市座光寺のエス・バードで開かれた。飯田下伊那地域の高校や専門学校に通う生徒 6 人が出場し、ロボット活用のアイデアを発表。飯田 OIDE 長姫高校 3 年の大沢証斗さん(18)が最優秀賞を受賞し、12 月の全国大会に出場する。

ロボットアイデア甲子園は 23 の地方大会があり、南信州大会はその一つ。昨年初めて開き今年 2 回目で、地元製造業でつくる実行委員会が主催した。南信州・飯田産業センターが協力、金融機関 3 社が後援し、15 社が協賛した。

発表会に先立ち、9 月に同市川路の三和ロボテイクスで見

学会を実施。学生たちはロボットの実機操作を体験し、アイデアのレポートを作成した。

この日生徒たちはレポートに基づいて考えた具体的なアイデアを発表。社会問題の解決につながるアイデアを考案し、生成 AI のチャット GPT で描いたロボットのデザインも見せながら、経済効果から販売価格まで説明した。

最優秀を受賞した大沢さんは、道路の端にある白線を読み取って動き、道路脇に生える雑草を取るロボットを考案していた。道路の草が伸びていると外観が悪く、高齢化や人手不足、猛暑で除草作業が大変になっていることに着目。同校の実習でつくったライントレースロボットをアイデアに生かした。

「まさか自分が選ばれるとは思わなかった。話の無駄を省くなど相手にいかに伝えるかを考えた」と驚きながらも笑顔を見せ「出るからには全国でも 1 位になりたい。草刈りもするなどアイデアをさらに練って、地域課題になっている除草に役立つことを PR したい」と意気込みを語った。

飯田 OIDE 長姫
電気電子工学科
2 年連続 全国大会へ